

ブドウの省力的な品種「BKシードレス」

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－ブドウ－栽培

2 担当者名

遠藤敦史、芝祥太郎、三田村諭、南春菜、渡邊善仁、佐久間宣昭

3 要旨

東日本大震災の被災地域における農業再生に向け、浜通りの稲作主体の地域で水稻育苗ハウスでのブドウ栽培が注目されている。このため、3倍体でジベレリン処理や摘粒作業で省力的とされる品種「BKシードレス」の導入を図ることを目的に省力性を調査した。その結果、ジベレリン処理1回で果粒肥大の確保が可能で摘粒作業が省略できることが明らかとなった。

- (1) 満開 3～6 日後のジベレリン 100ppm の 1 回処理で十分な果粒肥大が確保された (表 1)。
- (2) 着粒数はジベレリン処理 2 週間後までに 40～50 粒程度となり、摘粒作業を省略できた (データ省略)。
- (3) 房尻利用花穂整形により慣行法に比較して花穂整形時間を約 50%低減できた (表 2)。また、球状不整形から円筒形に房形が改善された (図 1、図 2)。
- (4) 果粒の過度な密着により、支梗が穂軸から裂けることがあるので注意する。

表 1 「BKシードレス」の花穂整形法による果実品質

処理区	果房重 (g)	着粒数 (個)	平均粒重 (g)	糖度 (° Brix)	酒石酸 (mg/100g)
房尻整形	452.5	43.6	10.5	18.4	0.39
慣行整形	380.6	41.0	9.3	18.3	0.39

※満開 6 日後にジベレリン 100ppm 処理を 1 回実施

表 2 「BKシードレス」花穂整形法の違いによる作業時間 (100 果房当たり)

花穂整形法	花穂整形作業時間
房尻整形	0 時間 51 分
慣行整形	1 時間 37 分

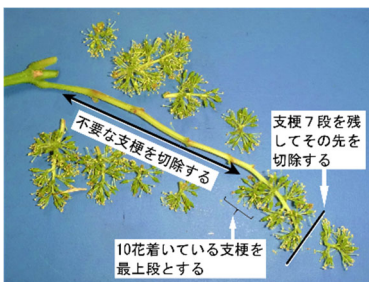


図 1 「BKシードレス」花穂の慣行整形と収穫果

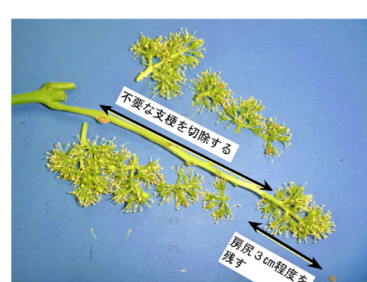


図 2 「BKシードレス」花穂の房尻整形と収穫果



4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 30 年度～令和 2 年度
- (2) 研究課題名 浜通り地域におけるナシとブドウの早期成園化技術導入に関する実証研究〔食料生産地域再生のための先端技術展開事業 (JPJ000418)〕

5 主な参考文献・資料

- (1) 果樹の早期復旧コンソーシアム, 栽培中断園地における果樹の早期復旧に向けた実証研究成果集, 2021.